情報学専攻入学者選抜試験

情報社会デザイン

問題冊子

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. 問題冊子は、表紙を含めて全部で 8 ページあります（他に別紙 1 枚）。試験開始後に問題冊子のページ数を確認し、落丁又は印刷が不鮮明な場合は直ちに申し出てください。

3. 解答は解答冊子に記入してください。問題冊子に記入しても採点されません。

4. 問題冊子、回答冊子は切り離さずにすべて提出してください。

5. 「社会システム基礎」分野はすべての問題に解答してください。「メディア」と「コミュニティ」は 2 分野から 1 つを選んで解答してください。
   - 選択解答した分野がわかるように、**解答冊子の表紙**に記載してある「メディア」と「コミュニティ」の**分野欄にある□内に印を 1 つ**付けてください。2 つ以上に印が付いている場合は解答がすべて無効になることがあります。

分 野	解 答	備 考
「社会システム基礎」	すべての問題を解答	
「メディア」 「コミュニティ」	2 つの分野から 1 つを選択して解答	解答冊子の表紙で、選択解答した 1 分野の□内に印をつける

受験番号	

社会システム基礎

※ すべての問題を解答すること。

（問 1）

2022年4月、JR西日本は「ローカル線に関する課題認識と情報開示について」と題するプレスリリースをおこない、同社が営業する鉄道路線のうち、2019年度における1日当たりの輸送密度（平均通過人員）が2,000人未満の17路線30区間と、その収支を公表した。例えば、芸備線の東城駅～備後落合駅（いずれも広島県庄原市）間の輸送密度は1日当たり11人であり、その線区において100円の営業収入を得るために、25,416円の営業費用を要していることが分かった。地域におけるこのような公共交通の現状や課題を踏まえたうえで、公共交通のあり方をどのようにデザインすべきか、パブリック・ガバナンスの視点から意見を述べなさい。

（問 2）

2021 年 11 月、一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）は「DFFT 推進に向けたデータ流通政策」という提言を発表した。この提言において、健康・医療分野のデータ活用についてつぎのように述べている。

削除：健康・医療分野のデータ活用に関する文章

（出典： http://www.keidanren.or.jp/policy/2021/104_honbun.html）

これを踏まえ、健康・医療分野のデータ活用について、そのメリットやデメリット、個人の同意のあり方などの観点を考慮しながら、どのような制度整備が望ましいかについて考えを述べなさい。

（注）DFFT: Data Free Flow with Trust。信頼性のある自由なデータ流通のこと。

PHR：Personal Health Record。個人の健康・医療・介護などに関するデータのこと。

（問 3）

高度情報化社会において、あなたが考える人と情報技術と社会システムの望ましい関係はどのような関係でしょうか。あなたが大学院で研究しようとしている研究テーマと関連付けて 150 語程度の英語で答えなさい。

メディア

※「メディア」と「コミュニティ」の 2 分野から 1 つを選んで解答すること。解答冊子の表紙において、選択解答した分野に対応する□内に印をつけること。

（問 1）

2000 年に公刊された『平成 12 年版　教育白書』（文部省）（第 1 部「文化立国に向けて」、第 1 章「今、我が国の文化をめぐって」、第 1 節「文化をめぐる環境」、3「デジタル技術の発達」、(3)「情報化に対応する著作権制度」）には以下のように述べられている。

削除：情報化に対応する著作権制度に関する文章

（出典: https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpad200001/hpad200001_2_077.html）

2000 年に認識されていた課題は現在ではどのように改善され、また、改善されていないか。このときに予期されなかった課題も含めて説明しなさい。

（問 2）

2021 年に公刊された『令和 3 年版　情報通信白書』（総務省）（第 2 部「基本データと政策動向」、第 5 章「ICT 政策の動向」、第 5 節「サイバーセキュリティ対策の推進」）では、以下のような課題が提起されている。

削除：サイバーセキュリティ対策の推進に関する文章

（出典: https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/pdf/n5500000.pdf）

今後、サイバーセキュリティに関してどのような施策が重視されるべきか、具体的に論じなさい。国家、企業、研究機関、個人の単位のいずれか、もしくは複数の連携に焦点を当ててもよい。

コミュニティ

※「メディア」と「コミュニティ」の 2 分野から 1 つを選択して解答すること。解答冊子の表紙において、選択解答した分野に対応する□内に印をつけること。

近年、日本国内においては地震、津波、豪雨などの自然災害が多発している。2011 年に発災した東日本大震災では、地震による揺れ、津波被害、それに伴う福島第一原発事故被害などが生じた。また、それ以降も、熊本地震（2016 年）、西日本豪雨災害（2018 年）、熱海市伊豆山土石流災害（2021 年）などが起きている。昨今の情報社会において、地域を超えたネットワーク形成や場所に依存しないコミュニティ・デザインが着目されている一方で、災害復興と支援においては、地域住民の目線に立ったコミュニティ形成が問われている。

（問 1）

資料（別紙の新聞記事 : 2020 年 01 月 17 日東京新聞 朝刊 25 頁「地域のつながり絶たれ近所付き合い減り、増える孤独死」を提示）を参考に、復旧・復興期に起こりうる被災者とコミュニティに関する生活課題とその要因を説明しなさい。

（問 2）

（問 1）でとりあげた生活課題は、情報社会のどのような問題と関連するのか。情報社会における地域コミュニティの役割や課題について、「コミュニティ」概念を検討した上で論じなさい。